第32回東海高等学校バスケットボール新人大会

決勝リーグ

試合日	2019年2月10日
会　場	このはなアリーナ
コート	A コート
開始時間	14:30

TEAM A					TEAM B
藤枝明誠（静岡）	72	20 – 16		55	中部大第一（愛知）
		16 – 16			
		16 – 12			
		20 – 11			
		OT			

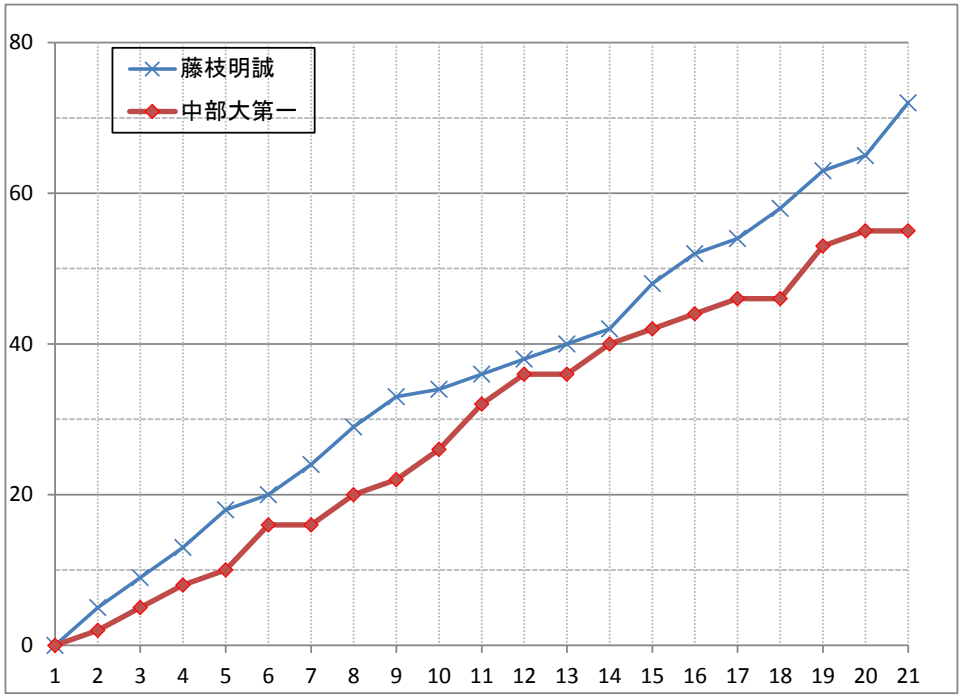
TEAM A　藤枝明誠　（静岡）

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	DNP	高　橋　佑　弥	0	0	0	0	0
5	＊	中　谷　陸　人	10	0	5	0	1
6	＊	菊　地　広　人	27	2	10	1	3
7	＊	岩　下　恵　達	18	2	4	4	2
8		OUMAR TIDIANE THIOUNE	3	0	1	1	4
9	DNP	片　山　恒　星	0	0	0	0	0
10	＊	浜　本　健	7	1	2	0	0
11	DNP	藤　澤　晴　琉	0	0	0	0	0
12	DNP	冨　永　優　也	0	0	0	0	0
13	DNP	高　野　敢　太	0	0	0	0	0
14	＊	KAMISSOKO OUMAR	7	0	2	3	5
15		川　越　大　輔	0	0	0	0	0
16	DNP	村　松　慶　俊	0	0	0	0	0
17	DNP	押　金　紘　輔	0	0	0	0	0
18	DNP	石　橋　永　遠	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			72	5	24	9	15

TEAM B　中部大第一　（愛知）

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	DNP	小　林　拓　光	0	0	0	0	0
5	＊	仲　宗　根　弘	8	0	3	2	3
6	＊	深　田　怜　音	6	0	3	0	0
7	＊	加　藤　康　太　郎	4	1	0	1	2
8	＊	Coulibaly Batoumani	27	0	12	3	4
9		副　島　光　生	4	0	2	0	2
10	DNP	福　富　剛　志	0	0	0	0	0
11	DNP	平　井　敬　悟	0	0	0	0	0
12	DNP	山　本　一　真	0	0	0	0	0
13	DNP	冷　泉　為　悟	0	0	0	0	0
14	＊	吉　本　大　心	6	0	3	0	1
15	DNP	趙　誠　現	0	0	0	0	0
16		葉　山　隆　誠	0	0	0	0	1
17	DNP	中　元　優　治　郎	0	0	0	0	0
18	DNP	長　谷　川　慧	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			55	1	23	6	13

【 得点経過 】



【 戦　評 】

1PD　静岡県と愛知県を代表するチームの対決。お互いマンツーマンで試合開始。藤枝明誠は⑥菊池⑦岩下⑩浜本の1対1を中心にディフェンスを崩し、フリーになった選手がシュートを決め加点していく。対する中部大第一は⑧Coulibaly を中心にスペーシングを作り攻撃を組み立てる。オープンショットを効率よく決めた藤枝明誠が主導権を握り、20-16藤枝明誠リードで1PD終了。

2PD　両チームマンツーマンでスタート。リズムを掴んだのは藤枝明誠。⑥菊池⑦岩下の1対1を中心にディフェンスのズレを作り出しシュートを確実に決めていく。対する中部大第一はセンターのクロススクリーンを使いペイントエリアにアッタクするものの、得点できない時間が続き、残り6分、たまらずタイムアウト。しかし、藤枝明誠⑥菊池が連続で得点し、流れを渡さず、残り4分で10点差とする。このまま藤枝明誠のペースでいくと思われたが、中部大第一は⑧Coulibalyのポストプレイで得点すると、⑤仲宗根のドライブ、⑭吉本のブレイクで点差を縮めると、最後まで中部大第一の勢いは止まらず36-32、点差を4点とし前半終了。

3PD　中部大第一は⑧Coulibalyがゴール下を支配し連続得点で同点とする。藤枝明誠は⑩浜本のドライブですぐに逆転する。⑦岩下のジャンプシュート、⑥菊池のオフェンスリバウンドで6点差とすると、中部大第一はタイムアウト。中部大第一は⑧Coulibalyのリバウンド⑨副島のドライブで連続得点するが、藤枝明誠も⑥菊池のジャンプシュート、スティールからのブレイクで得点し流れを渡さない。一進一退の攻防が続くなか、オフェンスリバウンドで粘り勝ちした藤枝明誠が終了間際に⑩浜本の3Pで52-44とし、3PD終了。

4PD　先手を取ったのは中部大第一。⑥深田のブレイクで得点。しかし、⑧Coulibaly⑤仲宗根を中心にインサイドを攻めるがシュートが決まらない。その間、藤枝明誠は⑤中谷⑥菊池⑦岩下の1対1で加点し、残り7分この試合最大の12点差となる。流れを変えたい中部大第一はタイムアウトを取り、⑧Coulibalyのペイントエリアへのアタック、⑭吉本のオフェンスリバウンドで粘りを見せる。その後も果敢にリングにアタックするが藤枝明誠のヘルプディフェンスの速さに苦戦する。藤枝明誠は最後まで集中を切らさず、⑥菊池の27点を含む攻守にわたる活躍で、中部大第一を退け、72-55で勝利をした。

戦評（文責）	中川智之（常葉大橘高校）	記入者	牧野桜汰（清水東高校）